

**事務事業マネジメントシート**  
**(兼)予算編成資料・実施計画資料**

作成日 H 27 年 3 月 25 日作成

事務事業名	市有バス運営事業 □ 実施計画事業	所属部局 総務部	単位番号 3150		
		所属課室 管財契約課	課長名 樋川 純一		
基本政策	I 情報と連携の都市づくり	所属担当 財産管理担当	担当者名 中込孝夫		
政策	01 行財政改革の推進	予算科目 会計	名称 款	項	
施策	02 行政改革の推進	目	細目	細々目	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)	01 一般	02 01	06 050 06	
事業の内容 事業の概要	事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市有バス(3台)を市関係団体に利用してもらうために運行管理業務を行う。 毎年、委託契約を締結し、業者から運転手を派遣してもらう。 市有バスの車検整備等の管理を行う。	法令根拠 南アルプス市バス使用規程	事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込 )		
		項目(細節)	金額(千円)	項目(細節)	金額(千円)
		消耗品	150	委託料	7,388
		燃料費	2,592	自動車重量税	242
		修繕料	2,406		
		手数料	135		
		自動車保険料	50	計	12,963

**1 現状把握(DO)**

## (1) 事務事業の目的と指標

①活動	26年度活動内容 あやめ号バス、桃っ子バス、甲西バスで運行
27年度活動予定	あやめ号バス、桃っ子バス、甲西バスで運行
②対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市の機関及び団体 市有バス
③意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	市の機関及び団体が諸行事・研修等の際に使用する
④上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市有バスの効率的な使用

⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:稼動日数		日
イ:稼動距離		km
ウ:		
⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:保有バス		台
イ:市の機関及び団体		団体
ウ:		
⑦成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:利用者数		人
イ:利用件数		件
ウ:		
⑧上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア:稼動率		%
イ:		

(2) 事業費・指標の推移		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間トータル	事業費	国庫支出金 千円							
		県支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他 千円							
		一般財源 千円	11,214	16,273	12,963	12,104	12,104	12,104	
		事業費計 (A) 千円	11,214	16,273	12,963	12,104	12,104	12,104	0
	人件費	正規職員従事人数 人	1	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間 時間	360	360	360	360	360	360	
		人件費計 (B) 千円	1,638	1,638	1,638	1,638	1,638	1,638	0
		(A)+(B) 千円	12,852	17,911	14,601	13,742	13,742	13,742	0
活動指標		ア:日 イ:km ウ:	673.0 40,094.0	612.0	620.0	620.0	620.0	620.0	
対象指標		ア:台 イ:団体 ウ:	3.0 91.0	3.0 91.0	3.0 91.0	3.0 91.0	3.0 91.0	3.0 91.0	
成果指標		ア:人 イ:件 ウ:	25,521.0 718.0	23,473.0 647.0					
上位成果指標		ア:% イ:	61.5	55.8					

## (3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	旧町村においてバスを所有し、町村の事業、関係団体、学校行事等に使用してきた。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか?また、今後の予測は?	利用件数は年々増加しているが、バスの老朽化に伴い、修理の必要が頻繁にある。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	利用対象外の申し込み・相談が増えつつある。

## (4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容】 「4台のバスを3台にした。」
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	バスの入替について検討した。また温泉バスについては担当課と協議しH25年度からは市バスを使用しない方向になったのでバスの有効利用が図られる。

事務事業名	市有バス運営事業	所属部	総務部	所属課	管財契約課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 市の機関・団体が事業等にバスを利用しているので結びついている
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 市の管理するバスを市の機関・団体が利用するので妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。□ 民間・NPO □ 市民協働 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 現時点では3台のバスを所有し、事業が進められているが、将来的にはバスの更新が必要になった際には、事業の内容について検討が必要である。
	④成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 温泉バスについて担当課と協議し、運行方法の見直しによりH26年度は市バスを使用しない方向になったので、その分他団体の有効利用が図られた。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓)  <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】  <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 学校などの各種行事に利用されており、それを代替バスとすると膨大な経費がかかりことになる。  <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 これまで利用してきた団体等の活動を見直す必要も出てくる。また、車両借り上げのための経費が大幅に増える。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 バスの老朽化による修理が増えているため、入替の検討が必要である。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 頻繁に申し込みがあり、職員も事務に追われるが、申し込み側も計画的に内容をまとめてもらっているので削減余地がない
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 各所管課の関係している団体が使用しているので公平、公正である。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	甲西バスの温泉運行事業は、月6回定期的に運行していたが利用者も少ない状況から、担当課に事業の見直しを依頼し協議した結果、H26年度からは市バスを使用しないで運営できる方向になったことはその分、他の団体が使用でき市バスの有効利用に繋がるのでよかったです。
②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果)
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果)	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了
(2) 改革改善案について	コス
①市バスの入れ替え検討	ト水準
	削減
	維持
	増加
	※ 廃止・休止の場合は記入不要
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度
①市バスの台数・規格等の検討	成果優先度評価結果
	(12)
	コスト削減優先度評価結果
	(6)